

7. 目標実現に向けた取組体制

7-1. 行政、民間事業者、町民等が参画した、協働による取組体制

本プロジェクトを推進するため、以下のような体制を構築し、行政、民間事業者、町民等が参画し、協働で目標実現に向けて取り組む。

(1) 観光復興ビジョン推進にかかる助言を行う主体

① (仮称)山田町観光復興ビジョン審議会

山田町観光復興ビジョンの推進にあたり、必要な助言を行う。

構成員	山田町観光復興ビジョン策定委員を基に、町内主要関連組織・事業者、町外の有識者、山田町役場（担当課：水産商工課）等により構成。
開催頻度	年1回程度（各年度の取りまとめ報告、実施計画）。 山田町が必要と判断した時。

(2) 観光復興ビジョン推進にかかる具体事業の立案・推進を行う主体

① (仮称)山田町観光復興ビジョン推進会議

山田町観光復興ビジョンの推進にあたり、山田町役場と協働・連携し、具体事業を検討・実施する（具体事業の内容、実施方法、優先順位、事業費の確保方法の検討等）。具体事業の実施にあたり、町内組織・団体、事業者、一般町民、関係する旅行・交通事業者等と調整・連携する。また、必要に応じて、(仮称)専門部会を招集し、具体事業の内容を検討する。

構成員	山田町観光復興ビジョン策定ワーキング会議・ワーキング委員を基に構成。
-----	------------------------------------

② 山田町役場

(仮称)山田町観光復興ビジョン推進会議と協働・連携し、具体事業を検討・実施する（具体事業の内容、実施方法、優先順位、事業費の確保方法の検討等）。具体事業の実施にあたり、町内組織・団体、事業者、一般町民、

関係する旅行・交通事業者等と調整・連携するほか、庁内調整、県・国等との調整を行う。

③ （仮称）専門部会

（仮称）ビジョン推進会議が必要に応じて招集し、各々の現場課題に基づき具体事業の内容等の検討を行う。

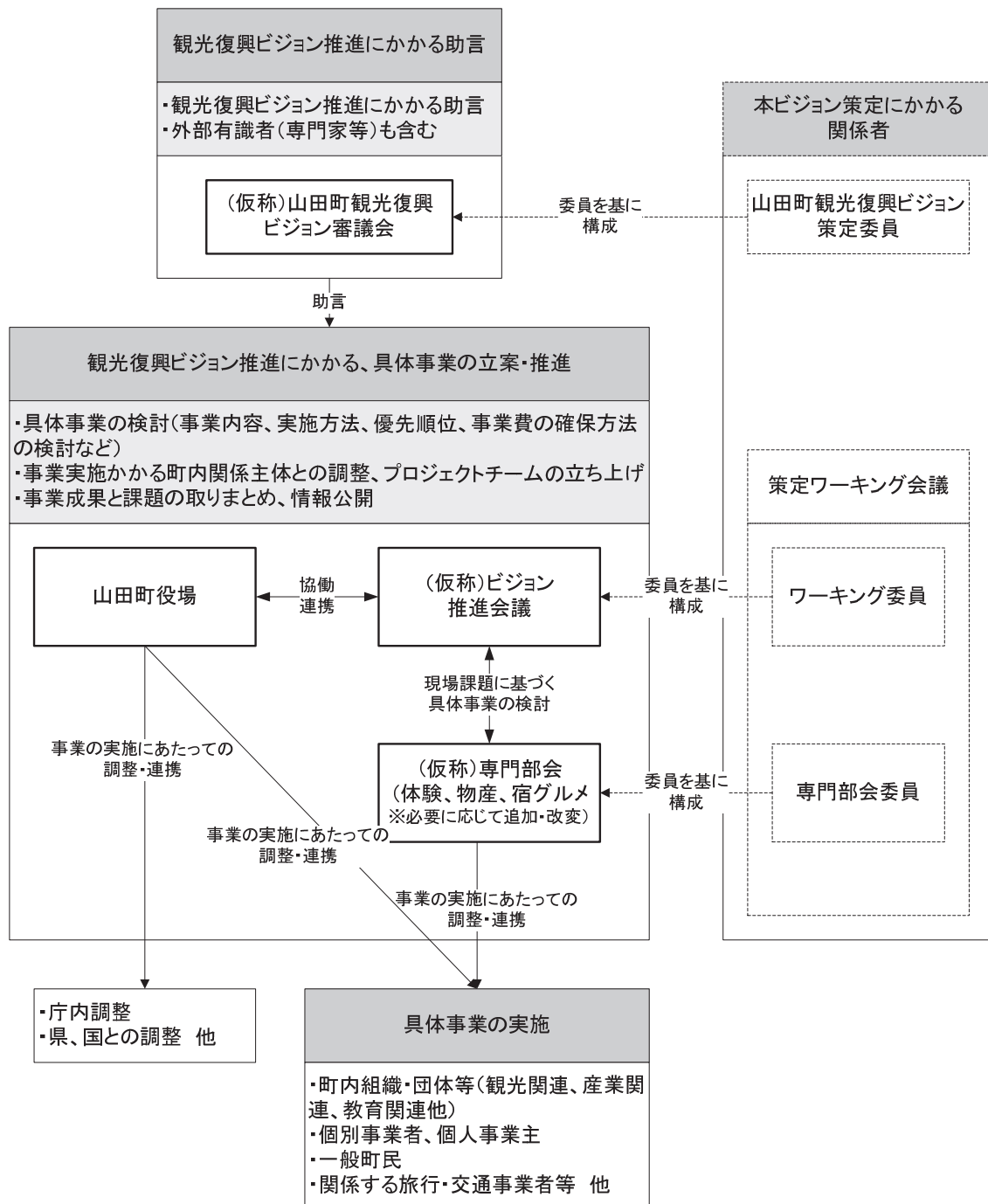
構成員	山田町観光復興ビジョン策定ワーキング会議・専門部会委員を基に構成。
-----	-----------------------------------

（3）具体事業を実施する主体

具体事業は、（2）が立案した具体事業に基づき、その実現に必要な主体が分野横断的に参加して実施する。

関係する主体（例）	・ 町内の組織・団体等（観光関連、産業関連、教育関連他） ・ 個別事業者、個人事業主 ・ 一般町民 ・ 関係する旅行・交通事業者等 他
-----------	--

図 7-1 山田観光復興ビジョンの取組体制



7-2. 取組方法

(1) PDCA サイクルによる推進

本ビジョンを効果的に推進するため、PDCA サイクルの考え方を基に、進行管理を行う。

表 7-1 PDCA サイクルに基づく進行管理

サイクル	実施主体	実施内容
PLAN (計画、企画)	・観光復興ビジョン推進にかかる具体事業の立案・推進を行う主体	・実施計画、企画を作成 (人員、予算、資源) ・計画期間、成果目標の明示
DO (実施)	・観光復興ビジョン推進にかかる具体事業の立案・推進を行う主体 ・具体事業を実施する主体	・実施計画に基づく具体事業の実施 ・実施状況の記録
CHECK (確認・評価)	・観光復興ビジョン推進にかかる具体事業の立案・推進を行う主体	・実施結果の確認 ・目標と比較した際の評価
ACTION (反映、改善)	・観光復興ビジョン推進にかかる具体事業の立案・推進を行う主体	・評価に基づく改善方法の検討 ・次の計画への反映

(2) 目標達成度を図るための指標(ものさし)の検討と必要に応じた見直し

本ビジョンの目標達成度を測り、効果や課題を検証するための指標(ものさし)の設定を検討する(必要に応じて追加調査等を行うことも検討する)。

表 4-2 6つの具体目標とものさしの例(再掲)

	目標	内容	目標達成度を測るものさしの例
観光客の状況に関する目標	(i) 山田町の認知度、観光客数、満足度、滞在時間を 倍増 しよう。	現在の観光客数を倍増することを目指す。また、山田に来てよかったと思っただけの観光客数も増やすことを目指す。	・観光客数 ・宿泊客数 ・滞在時間 ・観光客満足度 ・リピーター率
	(ii) 旅行者の消費機会と消費金額を 倍増 しよう。	山田町にきた旅行者の消費機会と消費金額を増やすことを目指す。	・観光客の消費単価 ・観光消費による経済波及効果
産業の状況に関する目標	(iii) 観光に関わる人・企業を 倍増 しよう。	観光を通じて経済効果を高めることを目指す。	・観光関連産業の従事者数 ・観光関連店舗数(飲食、物販等) ・宿泊施設稼働率
地域住民の状況に関する目標	(iv) 山田町民の誇りを 倍増 しよう。	山田町の地域資源、産業への理解等を深め、山田町民の山田町への誇りを高めることを目指す。	・観光振興への意識、地域への誇り ・山田町の地域資源への理解度
	(v) 観光を通じた取り組みに関わる町民を 倍増 しよう。	観光を通じて「人と接する機会を持つ人」を現在よりも増やすことを目指す。	・観光振興に関わるガイドや協力者の人数
地域資源の状況に関する目標	(vi) 地域の宝を 倍増 しよう。	観光活用しないものも含めて、山田の宝といえる地域資源を発掘・整理し、網羅的に把握することを目指す。	・地域資源(自然資源、文化資源)数 ・観光活用する地域資源数 ・観光活用に伴う活用ルールの設定状況、保全活動等の実施状況

7-3. 本ビジョンの普及啓発

山田町観光復興ビジョンを実現するためには、山田町民が、本ビジョンへの理解を深め、参加や協力を得やすい状況をつくるため、普及啓発を図ることが必要である。表 7-2 に挙げるような方法等を用いて、継続的に普及啓発を図る。

表 7-2 普及啓発方法の例

(例 1) 山田町観光復興ビジョン説明会を開催する

山田町役場およびワーキング委員等により、一般町民を対象とした、本ビジョンの説明会を開催する。あわせて簡易な説明資料等も配布する。

- ・ビジョンの概要をワーキング委員等が説明
- ・参加者と意見交換 他

(例 2) 山田町広報に特集を組む

山田町広報に特集を組み、本ビジョンの概要を掲載する。

- ・見開きでビジョンの概要を作成・掲載
- ・ワーキング委員等の関係者によるコメントを掲載 他

(例 3) 観光復興ビジョンの概要パネルを掲示する

多くの方の目に付きやすい場所に、ビジョンの内容を分かりやすくまとめたパネルを掲示する。

- ・大判パネルに整理
- ・役場や公共施設等の玄関周辺、休憩スペース等に掲示 他

(例 4) 町民イベントで、観光復興ビジョンを紹介する

町民イベントの際に、開会式等でビジョンを紹介するとともに、ビジョンを説明するブースを出展する。

- ・ビジョン概要パネル掲示、パンフレット配布
- ・ビジョンの普及啓発の一環として体験プログラムを実施 他

(例 5) 名刺等に、ビジョンやスローガンを記載する

名刺等に、ビジョンやスローガンを記載する。

- ・「山田プライド」の「シール」をつくり、名刺に貼れるようにする
- ・誰でも使える名刺の台紙をつくる
- ・オリジナルロゴを作成する（商標登録も想定する） 他

(例 6) 「山田プライド」という言葉自体を広める

「山田プライド」という言葉自体を広める

- ・会合のあいさつ等で活用する
- ・会合の乾杯や締めかけ声に「山田プライド」と言う 他